

まちづくり市民アンケート結果報告会

概 要

日 時：令和 2 年 1 月 2 8 日（火）

午後 7 時 00 分から 9 時 00 分まで

場 所：小倉公民館（参加人数：18 名）

1．開会

2．アンケート結果報告

【意見内容】

特になし

3．ワークショップ発表

【1 班】

大きく駅周辺をテーマに議論されたが、駅だけで完結することではなく、生活・水害・災害について関連した話が出た。

駅については、長期的には高架があれば良い、短期的に考えると橋上化をしてバリアフリーとなれば生活しやすくなる。

「東西の壁」という言葉が印象的。特に西から東に行く事に対して生活に非常に困難があるという意見。

大久保駅との比較や交通に関しては、市役所へ行きにくい（遠い）。

比較的地形が平らであるので生活はしやすいが、大雨があると非常に水が溜まりやすく、井川の氾濫がある。

高架ができなくとも、住民として勉強と理解をさせてほしいという意見があり、市役所が主催して勉強会などを開いて頂ければ参加したい。

過去には急行停車駅とする案もあったが、案が出ては消えてとなったため、長期的・短期的に考えて何か具体化できれば。

JR で滋賀県の方に行くといろいろな駅が商業地域として駅前開発され、駅前が賑わっている駅が多い一方で、小倉駅は取り残された感じがある。駅前については商業地域にしてほしい、用途の変更等、前向きに取り組んでほしい。

【2 班】

近鉄小倉の駅舎の改善がもう少しできるのではないかと、観光客や友人に対して「あそこが小倉駅だよ」という様なもの、象徴性がない。

駅前の雰囲気は暗い。

若い世代が車に乗らなくなったとはいえ、まだ家族世帯・子育て世帯は車があるので、もう少し駅西側に駐車場があった方が良い。

周辺地域のアクセス改善について、東西の分断に対してもう少し道路の改善が必要。

小倉駅からのバスについてもっと本数を増やしてはどうか。

歩行環境の改善として、京都銀行前の歩道の柵の改良、近鉄小倉駅の地下のスロープ化を。駅に近い土地の有効活用ということで、駅の周辺への保育・福祉施設の設置、近商の再開発、娯楽施設が少ないので増やしてほしい。

観光移住促進について、例えば小倉に茶摘み体験施設を作るなど、若い人への移住促進のために地域資源の発掘・創出が必要ではないか。

電柱を無くしたい、市役所の1つの課を小倉に移転。

【3班】

歩行者として東西方向へ行きづらい、地下通路が階段のためバリアフリー化したら良い。

踏切が閉じると、相当遠回りしないと東西方向に車で行き来ができない。

東西方向の八幡や久御山へ向かう公共交通機関がない。

昔はバスがあったが今はなくなってしまったので車を運転できなくなった後、公共交通機関があれば良い。

近鉄の高架化に対して住民側の意見は今回のワークショップ等で挙がっているが、近鉄側の意見が気になる。

駅前の整備について、ロータリーが無いので送り迎えをした時に渋滞や路上駐車が多いため、ロータリー用地として閉鎖したスーパーの立体駐車場を用地にしたら良いのでは。

賑わいをどのようにつくるのか、賑わいが無かった理由をもっと細かく分析したら良いのでは。道路関係について、東西の道路を繋げるという事も含め、東側のエリアでも道路が狭いという事があるので、電柱を地中化すれば解決するのでは。

歩道が狭い、凹凸が多いため歩けなくなった時（車いす等）に心配である。

急行停車駅としてはどうか。近鉄側の急行を停めることに対する意見が聞きたい。

数十年先、実際に人口減少が進んだ時に小倉はどうするのかといったビジョンを出してもらえると、住民も意見を出しやすい。

西側の開発された住宅地（木造密集市街地）の防災性が低いのではないか。

自家用車を持っていないとバスが無いので大型商業施設に行けない、生活用品・食料品についてはスーパーがあるため便利だが、洋服や嗜好品・娯楽のための大型商業施設が無い。

なかなか整備が進まないのを早く解決できれば良い。

【4班】

駅東側は発展し商業施設がある一方で西側にはないので、高齢の方々が東側へ買い物するのに地下通路は不便で夜は暗い。また、西から東へ行くことがしにくいので、これを一番に改善してほしい。

西側に買い物できる施設があれば東側へ行く必要がなくなるのではないか。

子どもの遊び場やスーパーがなく、まちの発展が止まっている。子どもの遊び場をつくるべき。

【総括：青山先生】

共通した意見としては、東西の分断の話。

長期的・短期的に取組みを考えるとといった意見や高架ができないのであればなぜできないのか、例えば宇治市の財政の中でどのような状態になるのかといった勉強会をやりましょうといった意見は重要。

歩行者が東西をどう移動するのが重要な議論。また、公共交通機関をこれからどうしていくのかといったところは、周辺の市町との関わりの上でも連携して考えていく必要がある。また、あと10年もすると自動運転のバスが走るような環境になる可能性がある。そうした時にどういったネットワークで走るのかといったことは重要なテーマ。そうしたことを見据えてまちづくりを考えていく必要がある。

【会の様子】



4 . 閉会

以上